

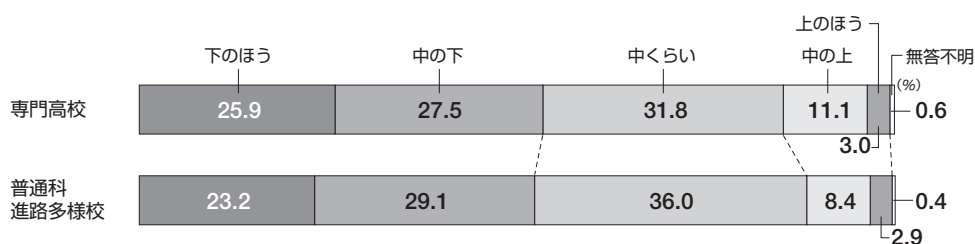
結果ダイジェスト

I 高校入学前の状況

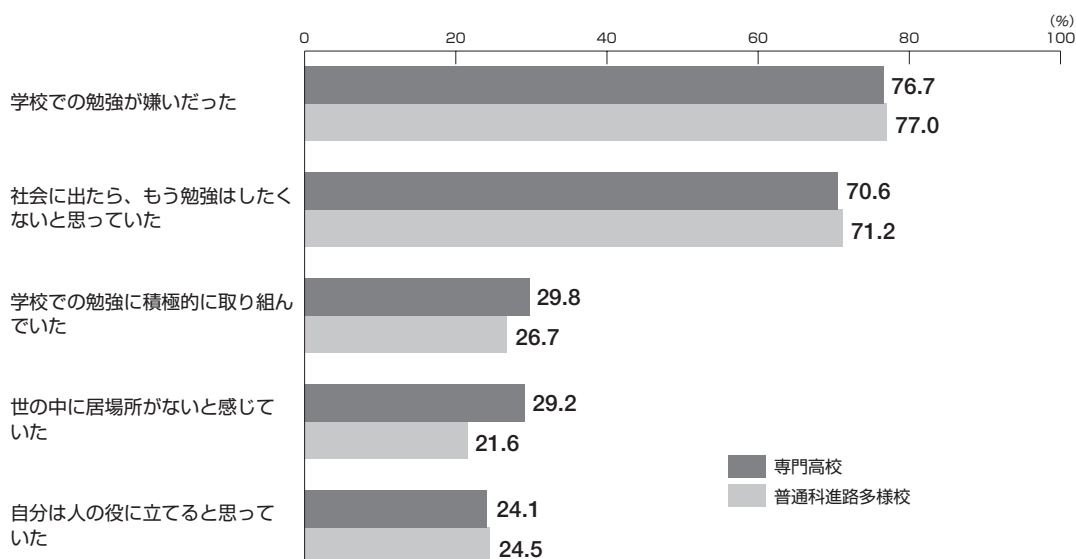
1 中学時代の様子

専門高校でも普通科進路多様校でも、中学時代に成績下位（下のほう+中の下）だった生徒は5割を超える。それぞれ8割の生徒が「学校での勉強が嫌いだった」、7割の生徒が「社会に出たら、もう勉強はしたくないと思っていた」と回答。

🔍 中学2年生のときのあなたの成績は、校内でどれくらいでしたか。



🔍 あなたは中学2年生のとき、次のことがどれくらいあてはまりましたか。



注) 「とてもあてはまる」 + 「まああてはまる」の%。

中学時代の様子についてたずねたところ、専門高校でも普通科進路多様校でも、5割を超える生徒が成績下位（下のほう+中の下）であったと回答している。また、中学時代、「学校での勉強が嫌いだった」と回答した生徒の割合（「とてもあてはまる」+「まああては

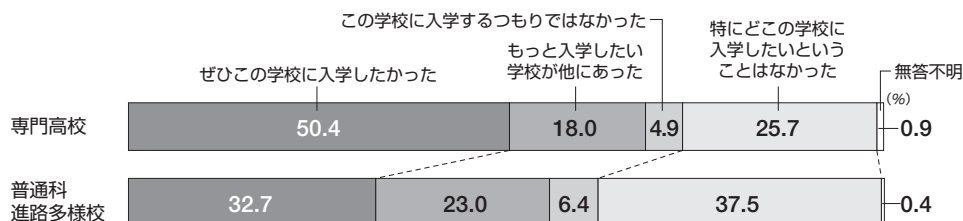
まる」の%、以下同）は、専門高校、普通科進路多様校によらず8割、「社会に出たら、もう勉強はしたくないと思っていた」と回答した生徒の割合は、それぞれ7割と高かった。多くの生徒が、中学時代、学習面で困難な状況に置かれていた様子がうかがえる。

Ⅱ 高校入学以降

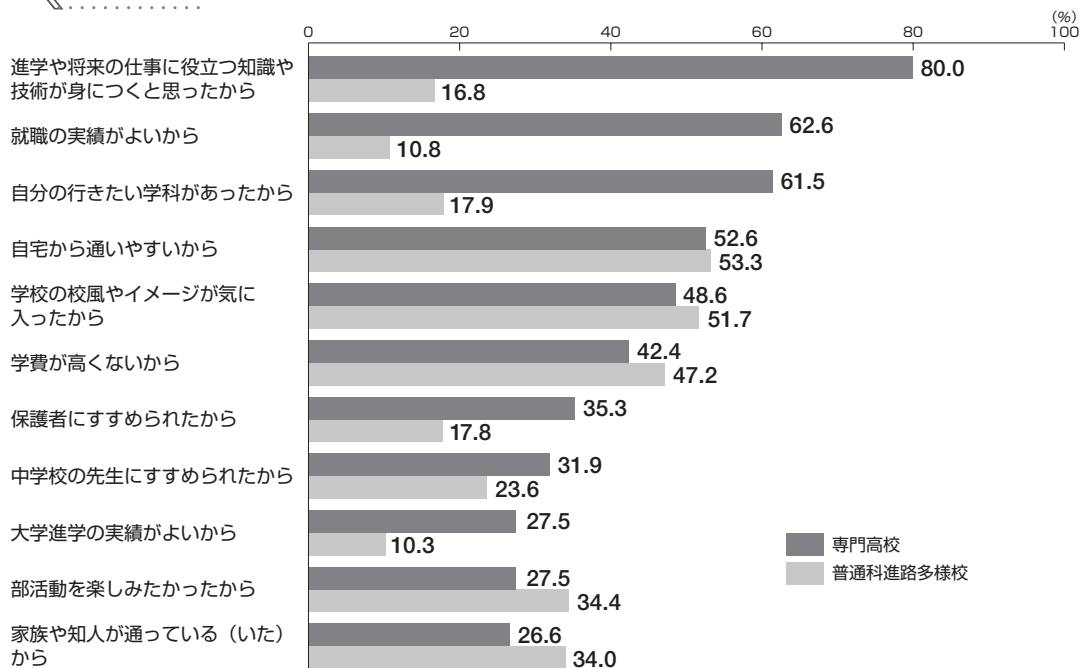
② 入学理由

専門高校の生徒の5割が「ぜひこの学校に入学したかった」と回答。入学理由のトップ3は、①「進学や将来の仕事に役立つ知識や技術が身につくと思ったから」、②「就職の実績がよいから」、③「自分の行きたい学科があったから」。

🔍 現在通っている高校は、あなたが入学を希望していた学校ですか。



🔍 現在通っている高校に入学しようと思ったのはなぜですか。



注) 「とてもあてはまる」 + 「まああてはまる」の%。

現在通っている高校に入学を希望していたかどうかをたずねたところ、専門高校の生徒の5割が「ぜひこの学校に入学したかった」と回答した一方で、普通科進路多様校では3割にとどまった。次に、入学しようと思った理由をたずねたところ、専門高校の生徒では、「進

学や将来の仕事に役立つ知識や技術が身につくと思ったから」と回答した割合（「とてもあてはまる」 + 「まああてはまる」の%、以下同）が8割ともっとも高かった。「就職の実績がよいから」「自分の行きたい学科があったから」と回答した割合も、それぞれ6割と高い。

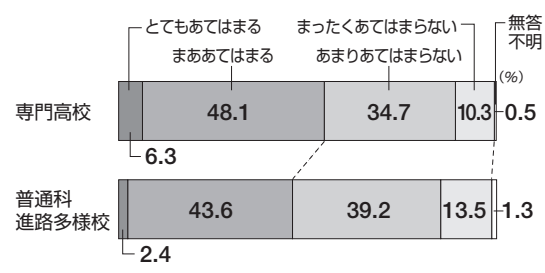
II 高校入学以降

3 高校生活の満足度

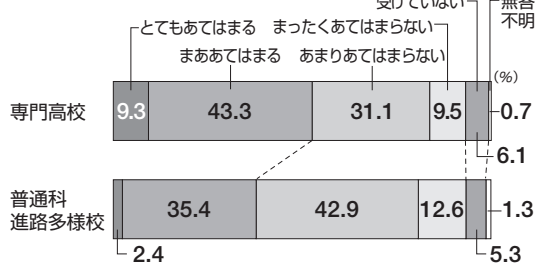
専門高校の生徒は普通科進路多様校の生徒と比べて、全体的に高校生活に満足している。特に、学校の授業や進学指導・就職指導に満足している。

あなたには、次のことがどれくらいあてはまりますか。

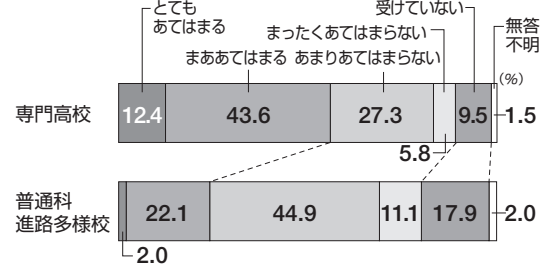
◆学校の授業に満足している



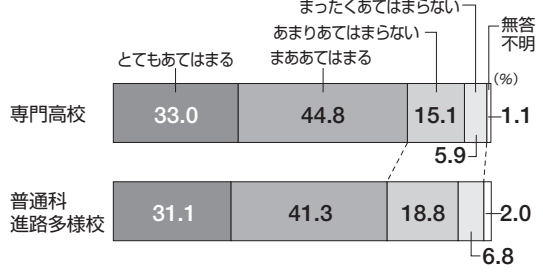
◆学校の進学指導に満足している



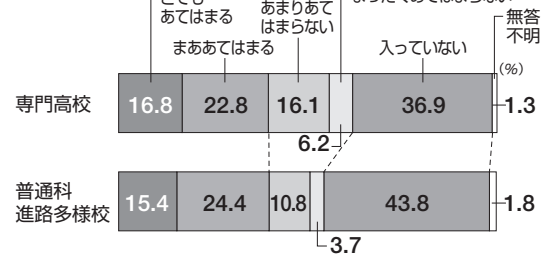
◆学校の就職指導に満足している



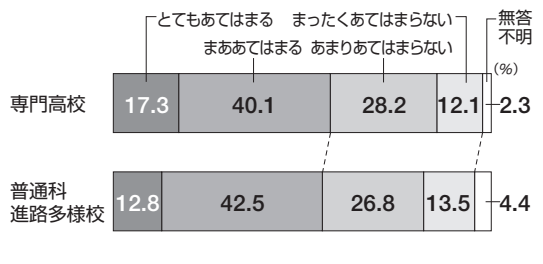
◆クラスの友だちに満足している



◆部活動に満足している



◆学校生活に満足している



高校生活にどの程度満足しているかをたずねたところ、「学校の授業に満足している」と回答した比率（「とてもあてはまる」＋「まああてはまる」の％、以下同）は、専門高校の生徒のほうが普通科進路多様校の生徒よりも、8.4ポイント高くなっている。「学校の進学指導に満足している」「学校の就職指導に

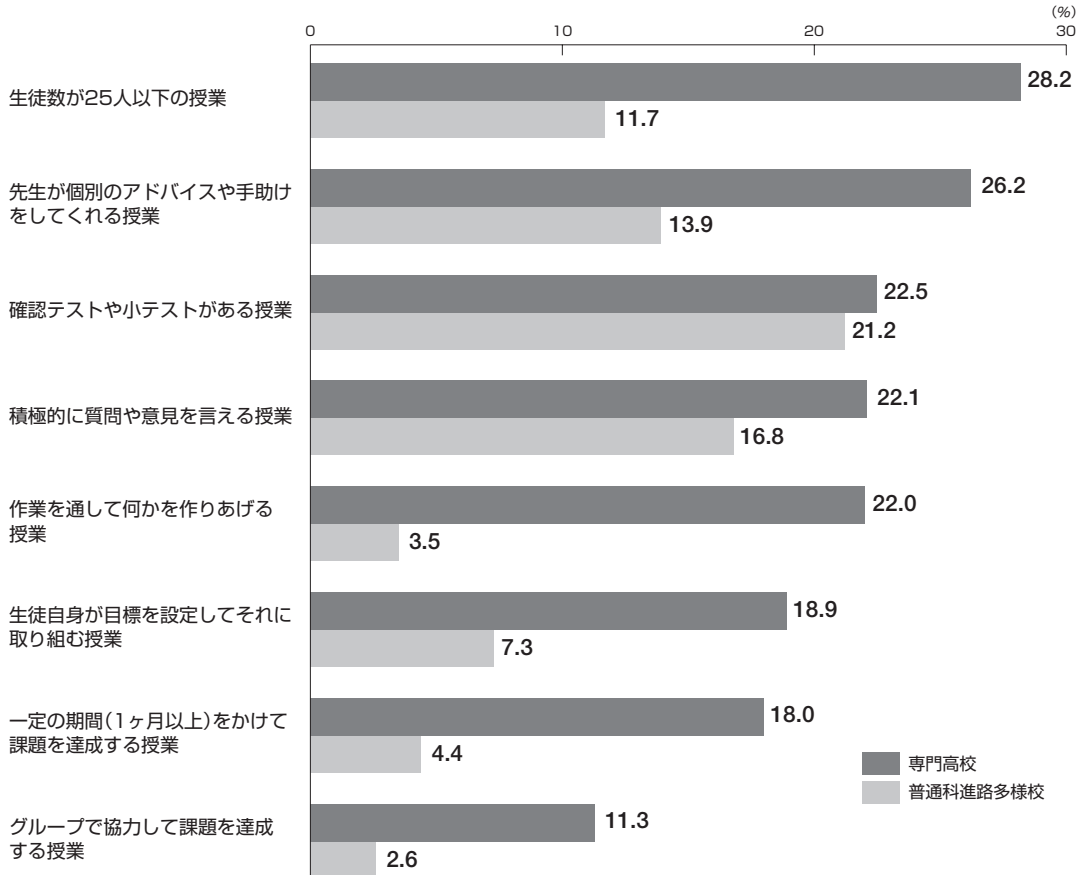
満足している」については、「受けていない」と回答した生徒の比率に注意がいるものの、それぞれ14.8ポイント、31.9ポイントの大差がついている。総じて、専門高校の生徒のほうが普通科進路多様校の生徒よりも、学校生活に満足している様子がうかがえる。

Ⅱ 高校入学以降

4 授業の内容

専門高校の生徒は普通科進路多様校の生徒よりも、「生徒数が25人以下の授業」「先生が個別のアドバイスや手助けをしてくれる授業」を多く受けている。「作業を通して何かを作りあげる授業」では、専門高校の生徒の比率が普通科進路多様校の生徒の比率を、20ポイント近く上回っている。

🔍 あなたが受けている高校の授業の中で、次のような授業はどれくらいありますか。



注) 「ほとんどすべて」 + 「半分より多い」の%。

ふだん受けている授業の内容についてたずねたところ、「生徒数が25人以下の授業」「先生が個別のアドバイスや手助けをしてくれる授業」が「多い」と回答した比率（「ほとんどすべて」 + 「半分より多い」の%、以下同）は、専門高校の生徒で、それぞれ28.2%、26.2%と高くなっている。他方、普通科進路多様校

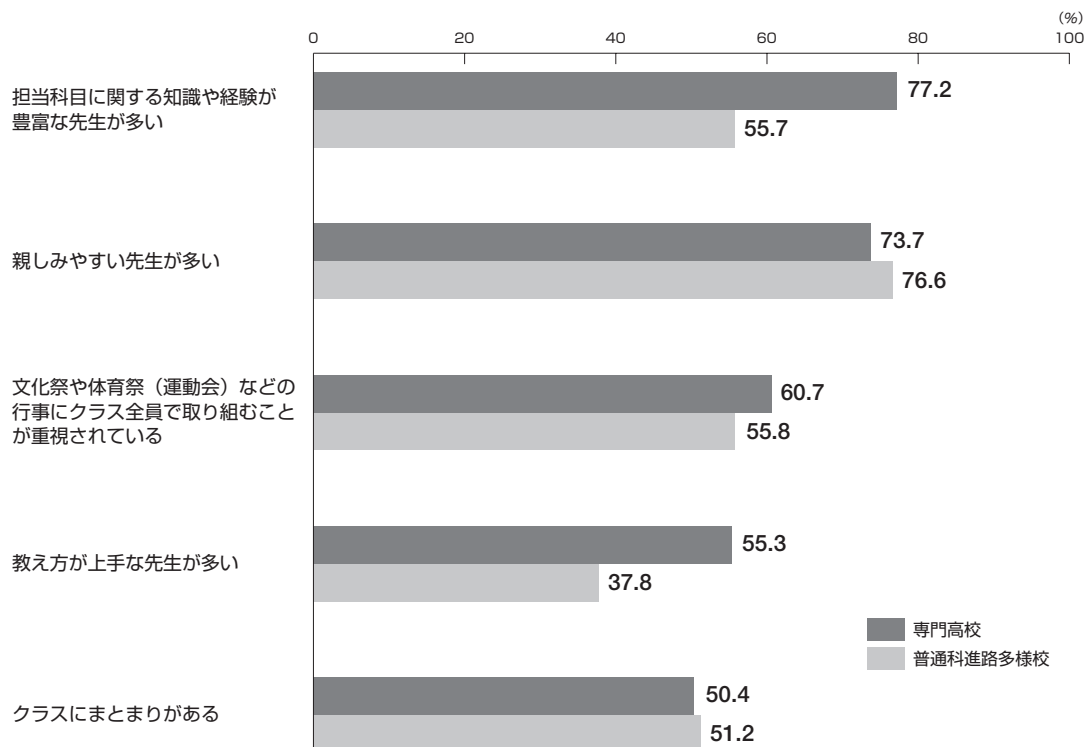
では、「確認テストや小テストがある授業」が「多い」と回答した比率が21.2%となっており、もっとも高かった。「作業を通して何かを作りあげる授業」が「多い」と回答した比率は、普通科進路多様校の生徒でわずか3.5%にとどまったのに対して、専門高校の生徒では22.0%であった。

II 高校入学以降

5 学校の先生やクラスの様子

専門高校の生徒は普通科進路多様校の生徒よりも2割程度多く、「担当科目に関する知識や経験が豊富な先生が多い」「教え方が上手な先生が多い」と回答。一方、「親しみやすい先生が多い」「クラスにまとまりがある」と回答した比率は、専門高校の生徒と普通科進路多様校の生徒で、あまり差がない。

🔍 あなたの高校には、次のことがどれくらいあてはまりますか。



注) 「とてもあてはまる」 + 「まああてはまる」の%。

学校の先生やクラスの様子についてたずねたところ、専門高校の生徒は普通科進路多様校の生徒よりも、「担当科目に関する知識や経験が豊富な先生が多い」と回答した比率（「とてもあてはまる」 + 「まああてはまる」の%、以下同）が21.5ポイント、「教え方が上手な先

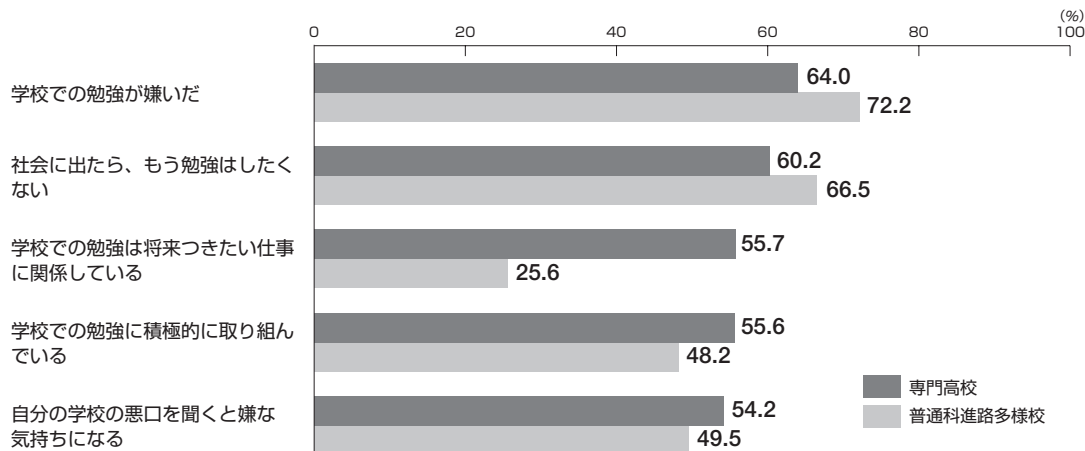
生が多い」と回答した比率が17.5ポイントも上回った。一方で、「親しみやすい先生が多い」や「クラスにまとまりがある」では、専門高校の生徒と普通科進路多様校の生徒の間で、大きな差はみられない。

II 高校入学以降

6 高校での勉強

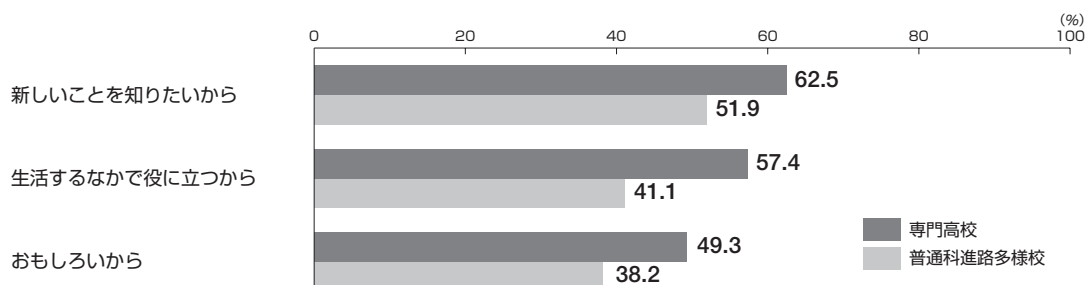
専門高校の生徒の6割弱が、「学校での勉強は将来つきたい仕事に関係している」と回答。「学校での勉強が嫌いだ」「社会に出たら、もう勉強はしたくない」と回答した比率は、専門高校の生徒のほうが普通科進路多様校の生徒よりも低く、学習動機は総じて高い。

あなたには、次のことがどれくらいあてはまりますか。



注) 「とてもあてはまる」 + 「まああてはまる」の%。

あなたが学習する理由について、次のことがどれくらいあてはまりますか。



注) 「とてもあてはまる」 + 「まああてはまる」の%。

高校での勉強についてたずねたところ、「学校での勉強は将来つきたい仕事に関係している」と回答した比率（「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%、以下同）は、専門高校の生徒では55.7%だったのに対して、普通科進路多様校では25.6%にとどまった。「学校での勉強が嫌いだ」「社会に出たら、もう勉強

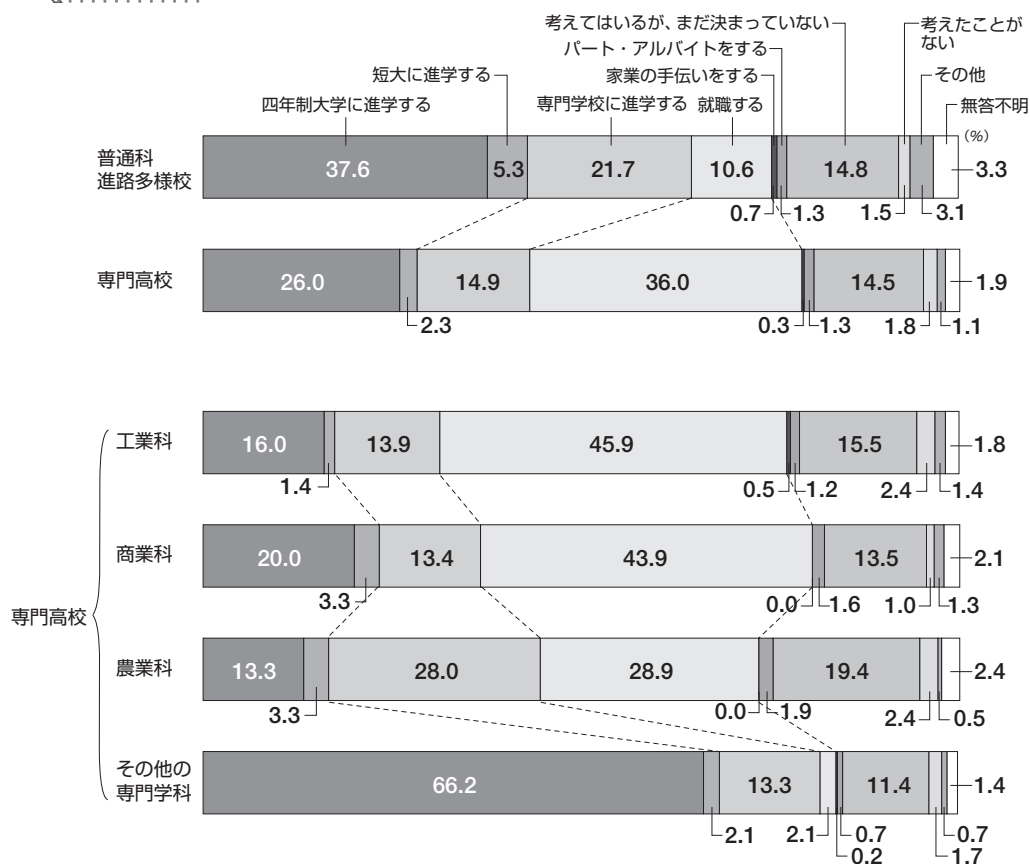
はしたくない」と回答した比率は、専門高校の生徒のほうが普通科進路多様校の生徒よりも、5ポイント以上低い。次に、学習する理由をたずねたところ、「生活するなかで役に立つから」と回答した比率は、専門高校の生徒のほうが普通科進路多様校の生徒よりも、16.3ポイントも高くなっている。

Ⅲ 高校卒業後のこと

7 卒業後の希望進路

普通科進路多様校の生徒の4割が大学（四年制大学+短大）への進学を希望するのに対し、専門高校では3割である。その専門高校では、4割弱の生徒が就職を希望している。進路未決定（考えてはいるが、まだ決まっていない+考えたことがない）の生徒は、学科によらず1～2割ずつ存在している。

あなたは、高校卒業後どのような進路を考えていますか。



生徒が卒業後に希望する進路としてもっとも多かったのは、普通科進路多様校の生徒では「四年制大学に進学する」(37.6%)であったのに対して、専門高校の生徒では「就職する」(36.0%)であった。専門高校を、さらに学科別にみると、工業科、商業科、農業科では、「就職する」と回答した生徒の比率がもっとも高かったが、その他の専門学科について

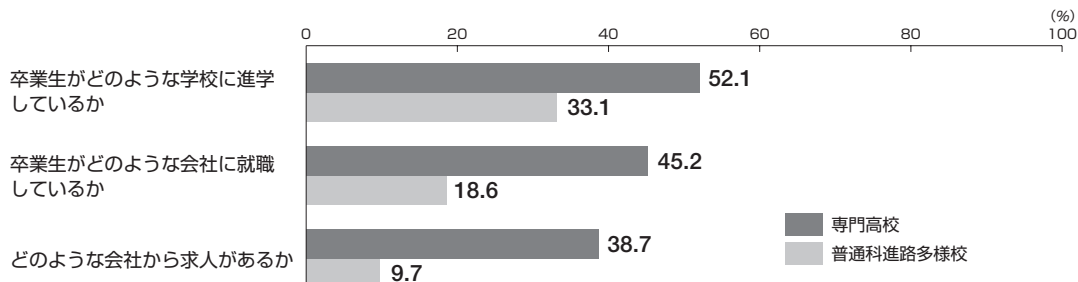
は、66.2%の生徒が「四年制大学に進学する」と回答している。その他の専門学科のなかには、大学進学を目的とした教育カリキュラムを導入した専門高校も含まれているためと考えられる。一方で、「考えてはいるが、まだ決まっていない」「考えたことがない」という進路未決定の生徒も、学科によらず1～2割ずつ存在している。

Ⅲ 高校卒業後のこと

8 進路に対する認知・積極性

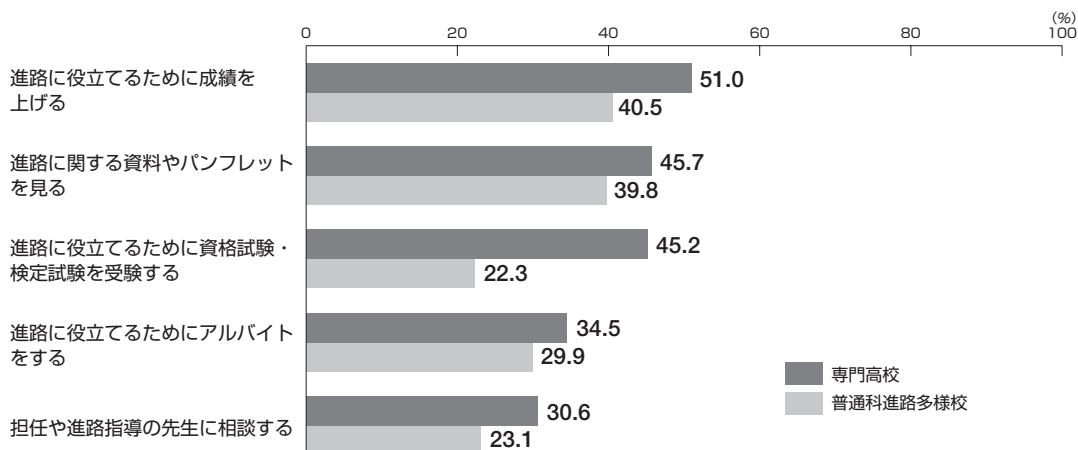
専門高校の生徒は、卒業生の進学・就職先、求人企業をよく認知しており、自分の卒業後の進路に対しても積極的に活動している。特に、「進路に役立てるために資格試験・検定試験を受験する」に積極的な生徒の比率は、普通科進路多様校の生徒よりも専門高校の生徒のほうが、20ポイント以上高い。

あなたは、あなたの学校について次のことをどれくらい知っていますか。



注) 「よく知っている」 + 「まあ知っている」の%。

あなたは高校卒業後の進路について、次のことをどれくらい積極的に行ってきましたか。



注) 「とても積極的」 + 「まあ積極的」の%。

自分が通っている高校の卒業生の進路についてどの程度知っているかをたずねたところ、専門高校の生徒は普通科進路多様校の生徒と比べて、卒業生の進学先や就職先、企業からの求人状況を、それぞれ「知っている」と回答した比率（「よく知っている」 + 「まあ知っている」の%）が高かった。また、進路に

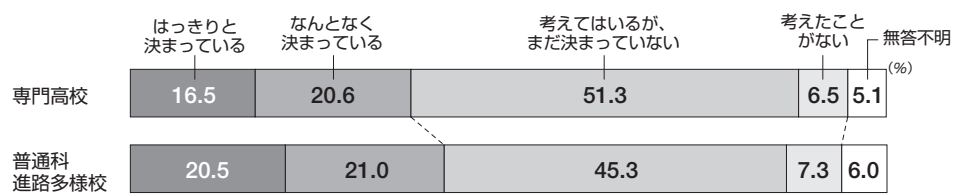
対してどのくらい積極的に活動しているかをたずねたところ、「進路に役立てるために資格試験・検定試験を受験する」に「積極的」と回答した比率（「とても積極的」 + 「まあ積極的」の%）は、専門高校の生徒が45.2%であるのに対して、普通科進路多様校の生徒は22.3%にとどまった。

Ⅲ 高校卒業後のこと

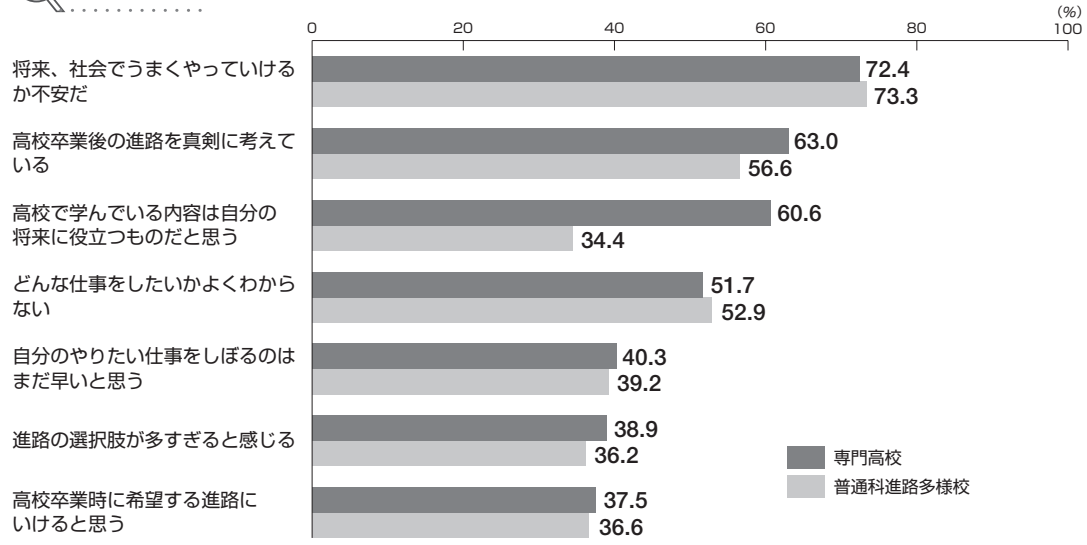
9 将来観・仕事観

専門高校でも普通科進路多様校でも、半数以上の生徒が将来やりたい仕事が決まってい
ない。また、それぞれ7割の生徒が「将来、社会でうまくやっ
ていけるか不安だ」と答えている。そのようななか、専門高校の生徒の6割は、「高校で学
んでいる内容は自分の将来に役立つものだと思う」と回答。

あなたは、将来やりたい仕事がどれくらい具体的に決まっていますか。



あなたには、次のことがどれくらいあてはまりますか。



注) 「とてもあてはまる」 + 「まああてはまる」の%。

将来やりたい仕事
がどのくらいは
っきりと決ま
っているかを
たずねたところ、
専門高校、普通
科進路多様校
ともに、「は
っきりと決ま
っている」「
なんとなく決
まっている」と
回答した生徒
の割合は4割
前後であるの
に対して、「考
えてはいるが
、まだ決まっ
ていない」「考
えたことがな
い」と回答し
た割合は5割
を超えていた。
次に、将来観・
仕事観につい
て

ずねたところ、
専門高校、普
通科進路多様
校ともに、「
将来、社会で
うまくやっ
ていけるか
不安だ」と回
答した割合
（「とてもあ
てはまる」+
「まああては
まる」の%、
以下同）は
7割であった。
一方で、専
門高校の生
徒の6割は、
「高校で学
んでいる内
容は自分の
将来に役
立つものだ
と思う」と回
答している。